

相続税 R4 令和3年贈与税対応版 (Ver. 21. 20) のリリース

令和3年分贈与税の申告書に対応した「相続税 R4 令和3年贈与税対応版 (Ver. 21. 20)」のリリース予定についてご連絡します。

このプログラムは、令和3年1月1日以降に発生した相続税および贈与税の申告用です。
当内容は変更の可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

1. 発行プログラムと対象バージョン

システム名	発行バージョン	バージョンアップの対象 (データ移行の対象)
相続税 R4	Ver. 21. 20	Ver. 21. 10 (Ver. 20. 1以降)

※バージョンアップ時にライセンス認証が必要です。

※R4 シリーズのアプリケーションを初めてセットアップする際、E i ボードが自動でセットアップされます。

※E i ボードは Ver. 21. 10 以降をご利用ください。

※ネットワーク環境でご利用の場合は、別途 [ネットワーク基本ライセンスサーバー版] および接続端末台数分の [ネットワーク基本ライセンス クライアント版] が必要です。これらをインストールすることによりアプリケーションは同時接続数ライセンス仕様となります。

※相続税 R4 (Ver. 20) のデータを Ver. 21. 2 で継続使用する場合は、「旧バージョンデータ読込」で移行します。旧バージョンデータ読込を行っても Ver. 20 のデータは残ります。

2. リリース時期 (予定)

提供方法	提供日 (予定)
E i ボード ダウンロードマネージャー エプソン会計システム「マイページ」	2022年1月21日 (金)
CD送品 (オプション保守契約の方)	2022年1月31日 (月) 送品開始

2-1. 贈与税の電子申告対応について

令和3年分贈与税の電子申告に対応した相続税 R4 電子申告プログラム (Ver. 21. 2. e2) は、電子申告 R4 (Ver. 21. 20) と同時に 2022年1月27日 (木) にダウンロード公開する予定です。

3. 改正の内容について

システムに関する贈与税改正内容は次のとおりです。

3-1. 配偶者控除の特例 添付書類の変更

贈与税の配偶者控除の特例の適用を受ける場合に添付する書類のうち「登記事項証明書」について、申告書への不動産番号の記入又は登記事項証明書の写しなどの不動産番号等の記載のある書類を提出することにより、登記事項証明書の原本の添付を省略できます。

3-2. 住宅取得等資金の非課税 添付書類の変更

住宅取得資金の非課税適用を受ける場合に添付する「登記事項証明書」について、申告書への不動産番号を記入することにより、登記事項証明書の添付を省略できます。

3-3. 取得した不動産に係る不動産番号等の明細書の追加

申告書に不動産番号を書ききれないときに使用する帳票として追加されました。

3-4. 住宅取得資金の非課税 合計所得金額と家屋の床面積の要件の変更

	令和2年	令和3年
合計所得金額	2,000万円以下	2,000万円以下（面積が40㎡以上50㎡未満の場合は1,000万円以下）
家屋の床面積（登記簿上）	50㎡以上240㎡以下	40㎡以上240㎡以下

※システムでは判定しておりません。

3-5. 「加算税の賦課決定通知書」電子通知（e-Tax）受取り対応

電子申告時に「加算税の賦課決定通知書」を書面ではなく、電子通知（e-Tax）で受け取ることができます。（受取りにはマイナンバーカードが必要です。）

3-6. 様式変更と追加

(1) 次の帳票が変更されました。 ※システム対応帳票、（控）省略、主票に準じます。

帳票名
第一表 贈与税の申告書
第一表の二 贈与税の申告書（住宅取得等資金の非課税の計算明細書）
第一表の三 贈与税の申告書（震災に係る住宅取得等資金の非課税の計算明細書）
第二表 贈与税の申告書（相続時精算課税の計算明細書）
第三表 贈与税の修正申告書（別表）
第三表 贈与税の修正申告書（別表の付表）

(2) 新規帳票

帳 票 名
取得した不動産に係る不動産番号等の明細書（相続税・贈与税用）

《参考》国税庁のホームページ

- ◆令和3年分贈与税の申告書等の様式一覧
<https://www.nta.go.jp/taxes/tetsuzuki/shinsei/shinkoku/zoyo/yoshiki2021/01.html>
- ◆令和3年分贈与税の申告のしかた
<https://www.nta.go.jp/taxes/tetsuzuki/shinsei/shinkoku/zoyo/tebiki2021/01.htm>

4. システムの主な対応内容（税制改正）（予定）

贈与税改正に伴う主な対応内容は、以下のとおりです。

4-1. 贈与税の申告書 変更帳票の対応

令和3年分の帳票に対応して、印刷フォーム、入力画面などを変更します。

帳票の主な変更点は以下の通りです。

※帳票タイトルや帳票IDおよび用紙右下の年について記載は省略しますが、令和3年の様式に合わせます。

令和3年の帳票に変更します。 ※（控）省略、主票に準じます。

変更帳票	変 更 内 容
第一表	<ul style="list-style-type: none"> ・受贈者及び税理士欄の押印欄削除 ・「不動産番号欄」が追加され、「数量、単価、固定資産税評価額、倍数」「過去の贈与税の申告状況」のレイアウト変更 <p>【Ver. 21.10】</p>

【Ver. 21.20】

第一表の二

- ・不動産番号等の明細欄追加に伴うレイアウト変更
- ・③⑤「平成27年分から令和元年分」→「平成27年分から令和2年分」に変更
- ・③⑧「令和元年分」→「令和元年及び令和2年分」に変更
- ・(注1) (注3) 文言変更

第一表の三

- ・不動産番号等の明細欄追加に伴うレイアウト変更
- ・④⑧「平成27年分から令和元年分」→「平成27年分から令和2年分」に変更
- ・(51)「令和元年分」→「令和元年及び令和2年分」に変更
- ・(注1) 文言変更

第二表

- ・第一表と同様に「数量、単価、固定資産税評価額、倍数」「過去の贈与税の申告状況」のレイアウト変更

【Ver. 21.10】

【Ver. 21.20】

第三表	・年度の変更
第三表 (別表の付表)	<ul style="list-style-type: none"> ・㉓ 「平成 27 年分から令和元年分」 → 「平成 27 年分から令和 2 年分」に変更 ・㉔ 「令和元年分」 → 「令和元年及び令和 2 年分」に変更 ・㉕ 「平成 27 年分から令和元年分」 → 「平成 27 年分から令和 2 年分」に変更 ・㉖ 「令和元年分」 → 「令和元年及び令和 2 年分」に変更
その他	・相続時精算課税届出書、特例株式等納税猶予税額の計算書等の押印欄が廃止されました。

4-2. 「取得した不動産に係る不動産番号等の明細書（相続税・贈与税用）」に対応

贈与税の案件データについてメニューを追加します。

※相続税の案件データは、書き方等が明確にされていないため未対応です。

4-3. 「加算税の賦課決定通知書」電子通知（e-Tax受取）に対応

「加算税の賦課決定通知書」を書面ではなく、e-Tax で通知を希望する場合に設定します。

<相続税案件データ>相続人情報に追加します。

No.	フリガナ	サンプル ハナコ	生年月日	昭和39年 4月 1日
	氏名 ※	サンプル 花子	年齢	56 歳
1	郵便番号住所	135-0001 東京都江東区〇〇 1丁目1番地1号		
	電話番号	- -	職業	
	法人個人区分	<input type="radio"/> 法人 <input checked="" type="radio"/> 個人	個人番号	
	利用者識別番号 *	0000 0000 0000 0001	代表相続人 *	<input checked="" type="checkbox"/> *電子申告する場合に入力します。
加算税の賦課決定通知書の電子通知（e-Tax受取）				<input checked="" type="checkbox"/> *通知を希望する場合にチェックを付けます。

<贈与税案件データ>案件基本情報の「贈与税」タブに追加します。

The screenshot shows the 'Case Basic Information' window with the 'Gift Tax' tab selected. In the 'Additional Tax' section, the option '加算税の賦課決定通知書の電子通知(e-Tax)' is checked, which is highlighted by a red box.

5. その他システムの変更点 (予定)

5-1. 贈与税の案件データについて、全ての財産を繰越の対象とします。(要望対応)

従来は「現金預貯金等」「有価証券」のみ繰越の対象でしたが、全ての財産を対象とします。

【Ver. 21.10】

コード	sample
氏名	サンプル 太郎
案件概要	サンプル太郎
相続/贈与年月日	令和 3. 1.20
税目	贈与税

【Ver. 21.20】

コード	sample
氏名	サンプル 太郎
案件概要	サンプル太郎
相続/贈与年月日	令和 3. 1.20
税目	贈与税

5-2. 贈与税の案件データについて、続柄リストの表示順を変更します。(要望対応)

従来は相続税と同じ続柄リストでしたが、書き方および e-tax を参考にを変更します。

また、選択肢に「その他」を追加します。

<贈与者情報>受贈者との続柄

<相続時精算課税届出書>特定贈与者との続柄

Ver.21.1	Ver.21.2	
	贈与者情報	相続時 精算課税
夫	父	長男
妻	母	:
長男	祖父	五男
:	祖母	長女
五男	義親	:
長女	夫	五女
:	妻	子
五女	長男	義子
子	:	孫
義子	五男	夫
孫	長女	妻
父	:	父
母	五女	母
義親	子	義親
祖父	義子	祖父
祖母	孫	祖母
兄	兄	兄
弟	弟	弟
姉	姉	姉
妹	妹	妹
/	その他	その他

5.3.入力ガイド 贈与税の説明を追加します。

[01. 基本メニュー] タブの「91. 入力ガイド」に贈与税の説明を追加します。

The screenshot shows the software's main menu with '91. 入力ガイド' highlighted in red. A red arrow points from this menu item to a document titled '相続税 R4 入力ガイド'. The document content is as follows:

EPSON
Renovation
R4 シリーズ
相続税 R4 入力ガイド

- ・はじめに（サポートメニューの使い方）
- ・メニューの表示変更

<相続税>	<贈与税>
・申告書の作成手順	・申告書の作成手順
・案件データ作成と相続人の設定	・案件データ作成と贈与者の設定
・財産の登録～申告書の印刷	・財産の登録～申告書の印刷
・（参考）遺産分割協議書	・（参考）前年のデータを使用する
・（参考）相続税試算表	・（参考）過去のデータを使用する
・（参考）税目変更・修正・更正の請求書	

入力ガイドでは、案件データの作成から申告書の印刷までの手順をご案内します。各機能の詳細は、サポートメニューにある電子マニュアル、システムのヘルプ、項目ガイドでご確認ください。

1

6. バージョンアップ後の確認事項

旧バージョンデータ変換処理の実行

旧バージョン（Ver. 21.1）で使用していた案件データを Ver. 21.2 へデータ変換して使用します。

- ・個別データ変換：[データ選択] 画面で1データずつ変換します。
- ・一括データ変換：[保守] タブ→[データ変換] の一括データ変換画面でまとめて変換します。

7. 贈与税 令和3年分データの先行入力について

相続税 R4（Ver. 21.10）で、令和3年分データの先行入力を行えます。

Ver. 21.20 では贈与税案件の全財産を繰越せますので、昨年の案件を繰越して使用する場合は、バージョンアップ後の処理をお奨めします。（Ver. 21.10 は現預金、有価証券のみ繰越）

以上、よろしくお願ひします。